

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	たむら ごろう	
氏名	田村 吾郎	
所属・役職	東京工科大学デザイン学部 准教授 RamAir.LLC 株式会社 TOM' S 経営企画室長（兼）デザインセンター長 WONDER VISION TECHNO LABORATORY（株）顧問	
活動拠点	東京を拠点に全国で活動	
略歴	1979 年生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業、同大学院博士課程終了。同大学教育研究助手、非常勤講師を経て、東京工科大学デザイン学部准教授。博士（美術）。 RamAir.LLC では（代表兼）アートディレクターとして各種デザインやブランディングなどを手がける一方で、オペラやコンサート、音楽祭などの企画・演出なども行っている。 また、厚生労働省「地域雇用創造好事例情報提供事業」アートディレクション・監督、中小企業庁「地域活性化事例」アートディレクション・監督、外務省文化交流参考資料「盆石 BONSEKI」プロデュース、内閣府「小さな拠点フォーラム」実施記録資料の監督など、省庁や自治体の様々な案件のアートディレクションを手がけている。 WONDER VISION TECHNO LABORATORY（株）では、大型半球体スクリーン「Sphere 5.2」を開発し、国内外の様々なイベントで運用しており、世界最大のクリエイティブフェスティバルである SXSW に NHK などと出品した「8K:VR ライド」がグッドデザイン賞を受賞。 2018 年の総務省「5G 総合実証実験」において 4K 映像のリアルタイム伝送に成功（KDDI、福山市、東京大学、プロドローン、サムスン電子、WONDER VISION 共同実施）。	
地域情報化の専門分野・技術	■地域の情報発信（実績：通信技術と VR、映像などを組み合わせた PR の開発など） ■観光（実績：通信技術と VR、映像などを組み合わせた PR の開発など） ■テレワーク（実績：複数拠点同士の双方向コミュニケーションデバイス開発） ■デジタルアーカイブ（実績：国宝、重要文化財などの超高解像度アーカイブ化）	
専門分野	計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成）自治体システムの標準化・共通化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバインド対策 5G 防災 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 テレワーク 医療・介護・健康 農林水産業 地域ビジネス スタート	

		アップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ ICT 活用広報 プロジェクトマネジメント支援
自治体向けメッセージ		アートディレクター、クリエイティブプロデューサーという立場で空間表現や映像表現を手がけて来た経験を生かし、地域リソースと先端的表現技術とを有機的に繋ぎ、街づくりのアイデアを生み出すお手伝いができればと考えています。
関連サイト		WONDER VISION TECHNO LABORATORY 株式会社 https://wonder-vision.co.jp/ RamAir.LLC http://ramair.co.jp/
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	■SXSW2017（米国テキサス州）にて、時空を超えた東京の旅というコンセプトの世界初 8K モーションライド付き裸眼 VR システム『8K:VR ライド』を NHK エンタープライズ、NHK メディアテクノロジー、レコチョク、WONDER VISION TECHNO LABORATORY で共同発表。 ■NHK《4・8K スーパーハイビジョンパーク》8K 放送の PR で 8KVR システム運用。 ■ボブスレーの VR 体験、シミュレーター、遠隔体験装置の試験可動に成功。 ■エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンと既存 FTD（フライト・トレーニング・デバイス）システムを活用した可搬型 VR 化実証試験に成功。 ■CEATEC2019、KDDI 株式会社ブースにて 5G「みんなで VR」を出展。 ■総務省「5G 総合実証実験」において大型半球体スクリーン「Sphere 5.2」への 4K ドローン映像のリアルタイム伝送に成功（KDDI、福山市、東京大学、プロドローン、サムスン電子、WONDER VISION 共同実施）。 ■沖縄セルラーOPEN LAB in Okinawa にて、「5G のもたらすワクワク体験」特別展示を実施。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	■「沖縄、ふるさと百選」認定事業の情報公開に関するアートディレクション ■厚生労働省「地域雇用創造好事例情報提供事業」アートディレクション・監督 ■中小企業庁「地域活性化事例」成果の情報化に関するアートディレクション ■外務省文化交流参考資料「盆石 BONSEKI」プロデュース ■内閣府「小さな拠点フォーラム」実施記録資料化のアートディレクション・監督